



北海道教育大学附属特別支援学校 令和4年度 公開研究協議会の御案内

研究主題

『育成を目指す資質・能力と知的障がい教育の学び』
～これからの函館で自分らしく生きるための学びのデザイン～



本校では、研究主題に『育成を目指す資質・能力と知的障がい教育の学び』を掲げ、3年計画で研究を進めてきました。社会に開かれた教育課程の実現と、本校で育成を目指す資質・能力の設定・育成について、地域の方との協議を交えながら取り組んできました。そして、令和3年度で3年計画の研究を終えました。

このたび、公開研究協議会を開催する運びとなり、令和3年度までの研究成果を御報告したいと考えております。つきましては、多くの皆様に御参会いただき、御指導、御助言を賜りますようお願い申し上げます。

期 日 令和4年7月 23 日(土)

※ 後日、オンデマンド配信も予定しています。

会 場 北海道教育大学附属特別支援学校

〒041-0806 北海道函館市美原 3 丁目 48-1 Tel(0138)46-2515

URL http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_tokushi/

日 程

8:30	9:00	9:30	10:15	11:45	13:00	13:50	14:00	15:45	16:00
受付	開会行事 研究概要 説明	授業参観① 小学部研究授業 中学部研究授業	授業参観② 高等部研究授業	昼食	学部協議	準備	基調講演 (オンライン開催)	質疑 応答	全体会 閉会行事

小学部「ウォーターパーク」

水遊びをとおして、友達を意識していくための活動を展開していきます。

中学部「町をきれいにするために」

ごみの減量、分別等につながる取組を発表します。

高等部「一学期報告会」

一学期の活動を振り返って、自分たちが感じたことを整理して報告します。内容に応じて、報告の方法を工夫します。

新学習指導要領等を踏まえた知的障がい教育の展開
—社会に開かれた教育課程の実現と地域生活の充実の視点から—

東京都立久我山青光学園 統括校長

丹野 哲也 様

日程について

■ 研究概要説明 9:00~9:30

開会行事の中で、令和3年度までの研究の成果と課題を報告します。

研究主題	『育成を目指す資質・能力と知的障がい教育の学び』 ～これからの函館で自分らしく生きるための学びのデザイン～
報告者	北海道教育大学附属特別支援学校 研究主任 中村 耕太郎

<研究の目的>

社会に開かれた教育課程の実現を目指しながら、本校における資質・能力を設定し、その資質・能力の育成につながる指導方法を検討する。

□ 社会に開かれた教育課程について

市役所職員、民間企業の方を招いて「どんな力が求められるか」を協議する。地域との関連を4つの視点にまとめ、授業実践を積み重ねる。

地域の活用 ・人材の活用 ・施設の活用 ・サービスの活用 など	地域へ発信 ・プレゼン ・作品の展示 ・製品の販売 など
地域と共同 ・企画 ・イベントへの参加 ・交流学習 など	地域を意識 ・今後の展望 ・季節や天気を感じる など

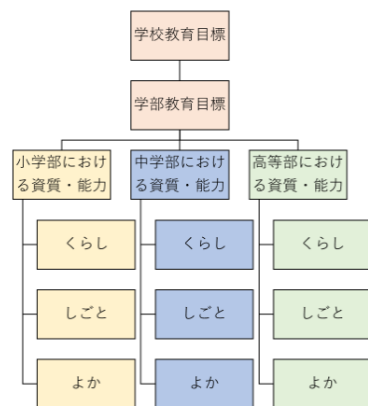
地域との関連を図る4つの視点

□ 本校における資質・能力の設定

在校生保護者、地域の福祉事業所、放課後等デイサービス、本校卒業生を対象としたアンケートと、本校での指導事例から資質・能力の設定を行う。

□ 資質・能力を育む指導方法の検討

単元デザインシートを作成し、単元において想定される「主体的な姿」「対話的な姿」「深い学びの姿」を設定し、その実現へ向けて授業改善を図る。カリキュラム・マネジメントを組織的にを行い、教科等横断的な指導を展開する。



単元デザインシート

令和3年度までの研究
成果を発表いたします



■ 授業公開 9:30～11:45

令和3年度までの研究に基づいた授業を各学部で行います。

小学部・中学部は9:30～10:15、中・高等部は10:15～11:45で行います。

学部

単元名

単元・授業の概要

『ウォーターパーク』

小学部
5、6年



本単元は、水を題材とした遊びの指導をとおして、友達を意識したり、自分の周りの様子に気づく力を育んだりすることをねらいとしています。

当日の授業では、学校の前庭をダイナミックに使用した水遊びを計画しています。児童自身が工夫し、夢中になって遊ぶことができる環境を設定し、その中で友達を意識できる支援を行います。授業が経過する中で、どのように遊びが発展していくかということに着目した授業を展開していきます。

授業者:能登 祐聡

『町をきれいにするために』

中学部
3年



本単元は、学校近隣で行った清掃作業やごみの分別等の学習をとおして気付いたり感じたりしたことを基に、ごみの減量や分別等につなげるという目的意識をもち、そのために自分たちができる取り組みを考え、他者に伝える活動を行います。

当日の授業では、ごみの減量や分別等につなげるために学級で協力して制作したごみの分別箱について発表します。生徒一人一人が活躍できる役割を設定し、分別箱の特徴等を説明したり、実際に分別したりする活動を行います。

授業者:前野 景子

『一学期報告会』

高等部
全体



本単元は、一学期の様々な活動において生徒が蓄積した記録の中から、報告したい内容を整理して報告します。一学期を振り返るためのツールとして「五感日記」を用いました。生徒が作成した「五感日記」と写真や動画などを活用して一学期を振り返り、生徒自身が整理した発見や気づきを思い出しながら一番伝えたいエピソードを選択して報告します。

当日の授業では、報告会を実施します。内容に応じて、絵で表現したり、音や匂いを再現したり、生徒一人ひとりが工夫を凝らした方法で報告を行います。

授業者:長瀬 裕明

■ 学部協議 (13:00～13:50)

各学部に分かれて、参観者の皆様と公開授業についての質疑応答や協議を行います。また、研究協力者から授業に対する助言をいただきます。

学部	研究協力者
小学部	北海道教育大学函館校教授 細谷 一博氏
中学部	函館大谷短期大学 藤村 敦氏
高等部	北海道教育大学函館校教授 北村 博幸氏

■ 基調講演（オンライン開催） 14:00～15:45

今後の特別支援教育に向けて、これまでの御経歴などのお立場から御講演いただきます。

演 題	新学習指導要領等を踏まえた知的障がい教育の展開 —社会に開かれた教育課程の実現と地域生活の充実の視点から—
講 師	東京都立久我山青光学園 統括校長 丹野 哲也 様
講師について	東京都立の特別支援学校の教諭、主幹教諭、東京都教育庁指導部指導主事、総括指導主事を経て、 2013年4月 文部科学省初等中等教育局 特別支援教育課特別支援教育調査官 2017年1月 同初等中等教育局視学官 2018年4月 東京都教育庁指導部特別支援教育指導課長 2021年4月 東京都立久我山青光学園統括校長 文部科学省で発行している「季刊特別支援教育」「初等教育資料」「中等教育資料」等に解説や論説を多数執筆。全国の特別支援学校や小・中学校などの研究授業における助言や分かりやすい講演内容には好評を得ています。書籍「知的障害教育におけるアクティブ・ラーニング」、「知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメント」など、子供たちの学びを基盤にした授業の更なる充実に向けた多数の著作に関わっています。（臨床発達心理士 SV 有資格者）



参加申し込みについて

1 対象者

□来校参加：函館市、七飯町、北斗市にある特別支援学校、特別支援学級より各校2名まで。または来校参加者を除く招待枠。

□オンデマンド配信：全国の教育・福祉・医療・行政関係者および大学生。

2 申し込み方法

参加方法は2形態です。いずれも Google フォームでのお申し込みとなります。以下の URL か QR コードにてお申し込みください。

①来校参加 【締切：令和4年7月8日（金）】

<https://onl.bz/DU3fz8j>



②オンデマンド参加 【締切：令和4年7月22日（金）】

<https://onl.bz/hNFcFHV>



※ オンデマンド配信では、すべての内容の配信ができない場合がございます。ご了承下さい。

※ オンデマンド配信では、当日の資料等は本校 HP に掲載予定です。

3 参加費 無料

4 その他

(1)当日、昼食の手配は行いません。各自でご準備ください。

(2)駐車場には限りがありますので、できるだけ公共の交通機関を御利用ください。

(3)新型コロナウイルス感染症対策に御協力ください。

【問い合わせ先】

北海道教育大学附属特別支援学校 担当：中村 耕太郎

〒041-0806 北海道函館市美原3丁目48番1号 電話 (0138)46-2515 FAX(0138)47-8729

URL http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_tokushi/